

学校番号	学校名	校長名
16	川崎市立南加瀬中学校	松田 宇宙

学校教育目標	今年度の重点目標
知徳体の調和のとれた人間形成を目指す 1. 基礎基本を大切に、個性を生かす教育を推進する 2. 自他を大切にす気持ち育て、責任ある行動をとれるようにする 3. 心身を鍛え、生き生きとした生活できるようにする 4. 美しいもの、正しいものに感動する心を育てる	①生徒が意欲的に学校・家庭での学習に取り組むよう指導力・評価力を向上させる。道徳の教科化のねらいに沿って、道徳の授業の定着と正しい判断力・行動力を育成する。新学習指導要領に即した授業の充実と評価の在り方について研修を深める。 ②挨拶の励行や生活環境の整備、時間の遵守などの規範意識を育成する。 授業や部活動、教育相談や進路相談を通して、生徒理解を進め、共に活動することを通して生徒に自尊感情を育てる。 ③学年を越えた生徒主体の学校行事、生徒会活動、学級活動、部活動を推進する。 生徒の主体的な活動のなかで、自らの役割を果たさせ、協力することの大切さを体感させる。 ④多様なものの見方や考え方を尊重し、思いやりのある行動と好ましい人間関係を育てる。 いじめや暴力のない民主的で明るい学校生活を送らせる。

評価項目	具体的な取組	成果と課題	具体的な改善策
1 教科・領域指導の充実 (確かな学力の育成)	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究</li> <li>「わかる授業」に向けた授業公開</li> <li>職員研修</li> <li>授業参観</li> <li>家庭学習の定着</li> <li>学習相談、学習支援の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「分かる授業」の実践に向けて、基礎・基本の定着を大切に授業を心掛けることができた。アンケート結果でも、「分かりやすい授業になるよう工夫されている」、「基礎・基本が身につくよう授業が工夫されている」の質問に対し、80%以上の生徒が肯定的な回答をしている。しかし、保護者に対しては、「よく分からない」と回答する割合が30%近くあった。保護者に対しての、本校の授業の取組を発信していく必要性を感じた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間に予定されている授業参観やオープンスクール、学校便りなどを有効活用し、本校の授業の様子を参観していただくとともに、授業を評価してもらえるよう工夫をしていく。</li> <li>教職員双方の授業見学等を計画し、教職員の授業力向上を図る。</li> <li>必要に応じて、放課後の時間などを活用し、学習の定着が見られない生徒に対し、少人数での学習支援を行う。</li> </ul>
2 生徒指導・進路指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>(A) 挨拶をする</li> <li>(S) 掃除をする(環境整備)</li> <li>(J) 時間を守る</li> <li>不登校対策・登校支援</li> <li>教育相談 ・職員研修 ・進路指導</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「挨拶や時間を守る指導がされている」の質問に対し、生徒・保護者ともに、肯定的な回答が80%以上であり、良好な結果と考えられる。</li> <li>しかし、「学習や生活の相談に対応してくれる」の質問に対し、肯定的な回答をした生徒は80%をやや下回る結果となっている。生徒の表面上の言動だけではなく、生徒の背景にあるものを探る指導が求められると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒がいつでも教職員に相談できる体制をさらに強化するために、教育相談に向けての職員研修などを企画し、教育相談がより生徒にとって有意義なものになるようにする。</li> <li>「生徒の個性や能力を生かす指導が行われている」に対して、肯定的な回答が70%程度となっている。キャリア教育などを活用し生徒の自己肯定感を高められるよう、指導方法や指導内容を精選していく。</li> </ul>
3 文化・体育活動の活性化 (特別活動の充実)	<ul style="list-style-type: none"> <li>笑顔あふれる楽しい学校づくり</li> <li>生徒会活動、委員会活動、特別委員会活動、学級活動の充実</li> <li>文化祭、合唱コンクール、体育祭、掲示物コンクール、大縄フェスティバル、新聞コンクール、年間ブロック優勝、グリーンレンジャー</li> <li>自主的な部活動の活性化</li> <li>学級での話し合い活動の推奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「体育祭や合唱コンクール等の行事の指導を熱心に行っている」、「校外学習、職場体験、修学旅行などの体験活動が充実している」の質問に対し、生徒・保護者ともに、肯定的な回答が90%以上となり、良好な結果であると考えられる。今後も、生徒の活躍の場、生徒が達成感を得られる場を大切に学校運営を行っていきたい。</li> <li>「生徒会活動、委員会活動の指導を熱心に行っている」に関しては、生徒は80%以上が肯定的な回答であるが、保護者の「よく分からない」が30%となっている。保護者への情報発信を工夫したい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>特別活動に関しては、今後も肯定的な回答が90%程度になるよう、PDCAサイクルを繰り返しながら、よりよいものにしていく。</li> <li>生徒会活動、委員会活動を保護者や地域の方が見学できる機会の設定を検討していく。</li> </ul>
4 人権尊重・生命尊重教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と連携した安全・安心な居場所としての学校づくり</li> <li>キャリア在り方生き方教育の推進</li> <li>道徳教育の充実</li> <li>かわさき共生*共育プログラム</li> <li>思いやりのある人間関係づくりの推進</li> <li>いじめや暴力を許さない学校環境の構築</li> <li>地域と連携した活動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「思いやりのある行動をする指導が行われている」、「いじめや暴力を許さない指導が行われている」に対し、80%以上の生徒から肯定的な回答を得ることができた。機を逃さず、適時、問題行動等に対し指導できていること、普段からの生徒との信頼関係の構築に努めた結果と考えられる。</li> <li>「道徳教育は充実している」に関しては、生徒からの肯定的な回答は80%を下回っている。豊かな心の育成を図るためにも、道徳の教材の精選や指導方法の改善が必要であると考えられる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「思いやりのある行動をする指導が行われている」、「いじめや暴力を許さない指導が行われている」に関しては、来年度も、肯定的な回答が80%以上になるよう、あらゆる教育活動の場面を通して、機を逃さずに指導していく。</li> <li>道徳指導に関する研修を実施し、道徳の授業がより内容の濃いもの、より生徒の心に響くものになるよう工夫していく。</li> </ul>
5 学校運営全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校運営の方針や取組の発信</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校教育目標、学年目標などが分かりやすく伝えられている」に対して、生徒・保護者ともに肯定的な回答が70%程度となっている。教育目標を意識しながら諸活動に取り組めるような改善が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校便り、学校HPを有効活用し、学校の方針などを発信するとともに、教育課程説明会、新入生保護者説明会などを有効活用し、学校の方針を繰り返し、分かりやすい言葉で伝えるよう心掛ける。</li> </ul>

学校関係者の評価	今年度の学校運営のまとめ・次年度へ向けて
<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の意見を、素直に、しっかりと伝える生徒が増えてきている。</li> <li>校内でも、多くの生徒から挨拶をもらう場面が多い。</li> <li>学校HPなども活用しながら、学校の良さを、積極的に情報発信していく必要がある。</li> <li>コロナウイルスが5類になったため、コロナ前のように、地域と学校とが触れ合う場面を増やしていきたい。</li> <li>学校行事が充実していることが、生徒の感想やアンケート結果からうかがえる。大変だとは思いますが、可能な範囲内で、今後も継続して欲しい。</li> <li>今後も、安全・安心な学校運営をお願いしたい。</li> <li>次年度より、学校運営協議会(コミュニティスクール)が始まることを契機に、さらに地域との関わりを深めていきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>部活動や行事に関しては、生徒・保護者から高い評価を得ることができた。しかしながら、教職員の負担軽減、ワークライフバランスの両立も必要であると考え。業務改善できる部分を模索し、特別活動の質は落とさず、教職員の負担を軽減させるよう心掛ける。</li> <li>安全・安心な学校づくりの基盤は、「分かる授業」である。学校生活の多くの時間は授業であり、授業が生徒にとって苦痛になってはならない。今後も分かる授業の推進を行い、誰一人取りこぼさない学校運営を行っていく。</li> <li>生徒の問題行動に関しては、言動そのものにとらわれず、生徒の背景を見る必要がある。毅然とした態度をとりつつも、生徒に寄り添う姿勢をもった生徒指導が実践できるよう、研修を行っていく。</li> <li>コロナ禍を経て、行事の精選やギガ端末の活用など、新しく見えてきたものもある。新しく取り入れるべきもの、削減していくものを検討しながら、より充実した教育活動を行っていく。</li> </ul>